

Fukuoka D.C. 都市再生部会 都心企業アンケート

実施期間: 2012.9.7 – 2012.9.21
実施方法: webアンケート

はじめに

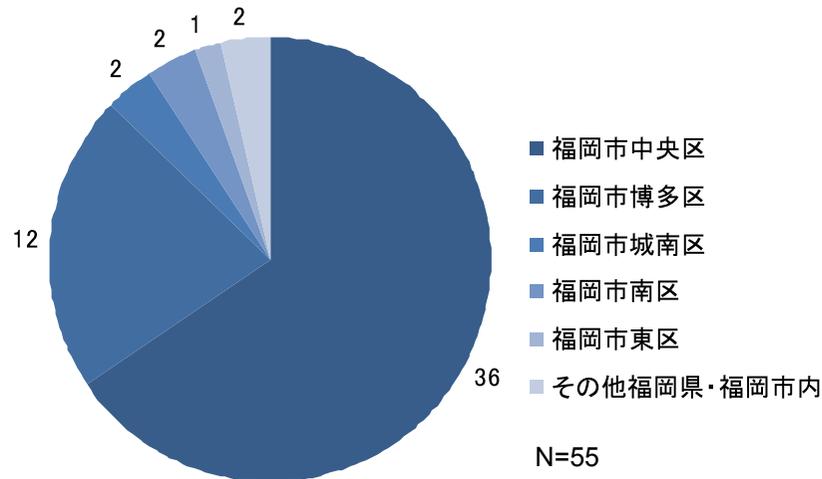
- 本アンケートは、福岡地域戦略推進協議会 (Fukuoka D.C.) 都市再生部会の都市再生戦略検討にあたって、都心の企業が現在どのような業務空間で活動しており、今後の業務空間や都心の空間についてどのようなニーズを持っているのか、大まかな感触をつかむために行ったものです。
- 統計学的に有意なサンプル調査ではありませんが、多様化する都心企業のニーズを垣間見ることができるかと思えます。
- ご協力いただきました企業の皆様に厚く御礼申し上げますとともに、アンケート集計(本資料)をご一読いただき、忌憚のないご意見やご指摘をいただければ幸いです。
- 本資料のデータ引用の際は、出所(Fukuoka D.C 都市再生部会)ご記載の上ご利用をお願いします。

福岡地域戦略推進協議会
都市再生部会 フェロー
天野 宏欣

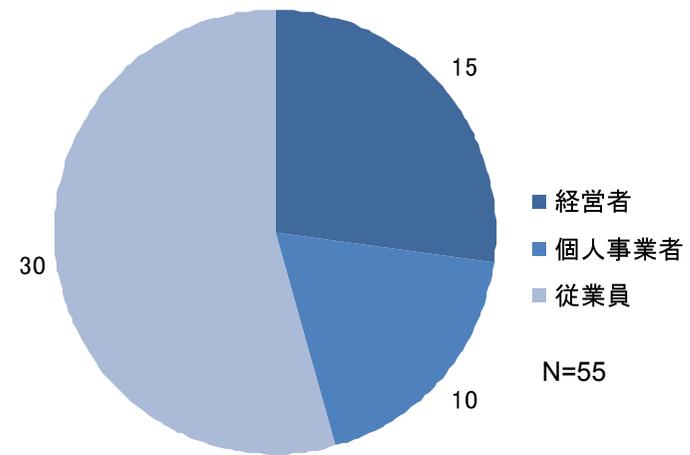
ご回答いただいた方の属性

- 主に福岡市中央区・博多区で活動している個人事業者を含む経営者、及び従業者の方々にご回答いただきました。

活動拠点の所在



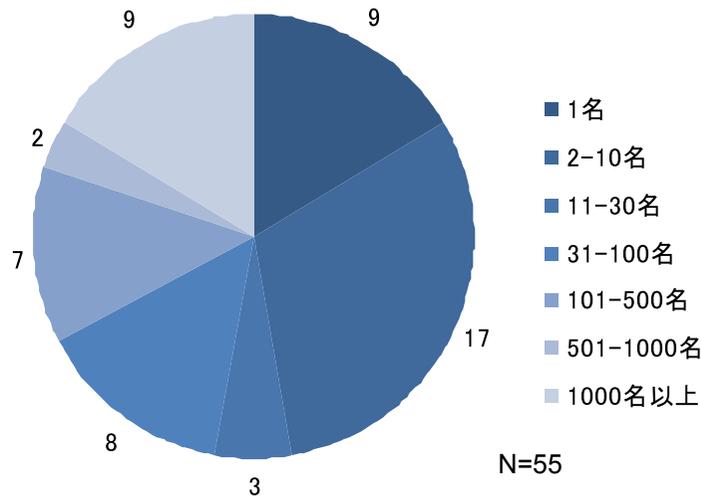
活動形態



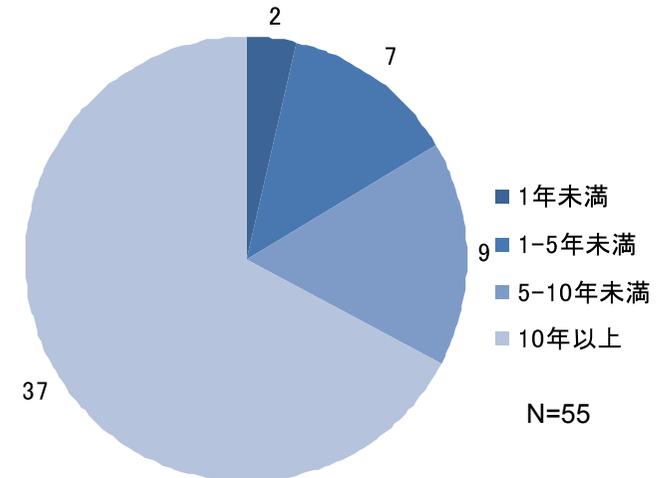
ご回答いただいた方の属性

- 30名以内の中小企業に属する方がご回答者の半数を超え、また、福岡での設立年数が5年以上の企業が大半を占めていました。

組織の規模

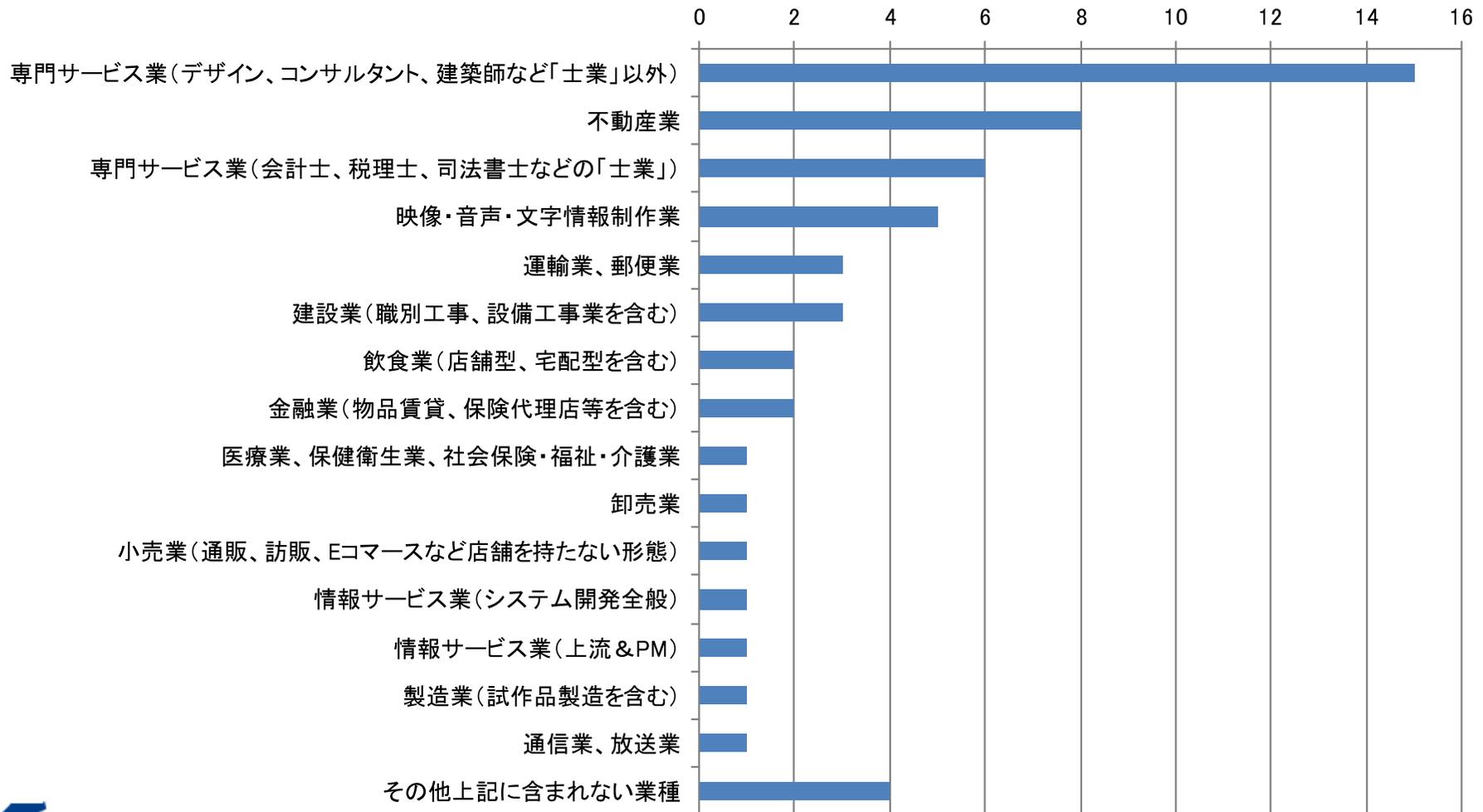


福岡における設立年数



ご回答いただいた方の属性

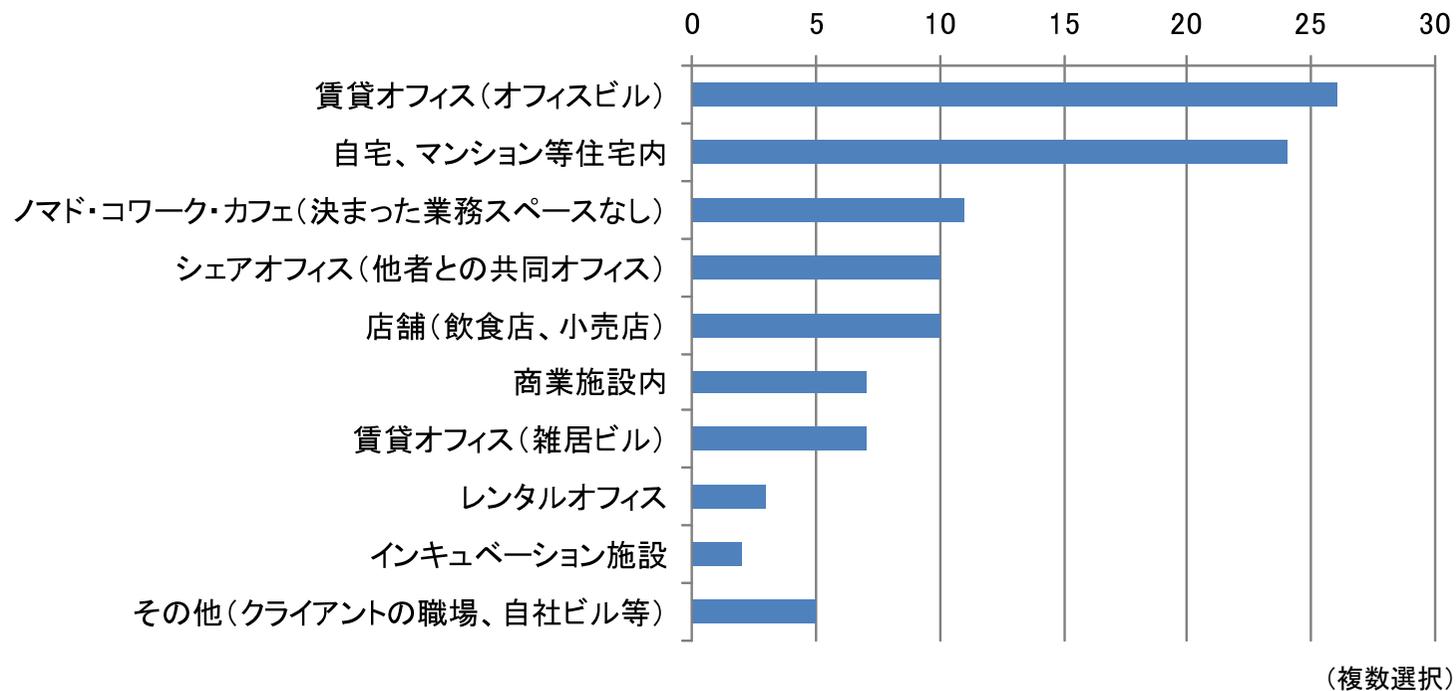
- 士業や士業以外の専門サービス業からのご回答と、不動産業からのご回答が上位を占めていました。



N=55

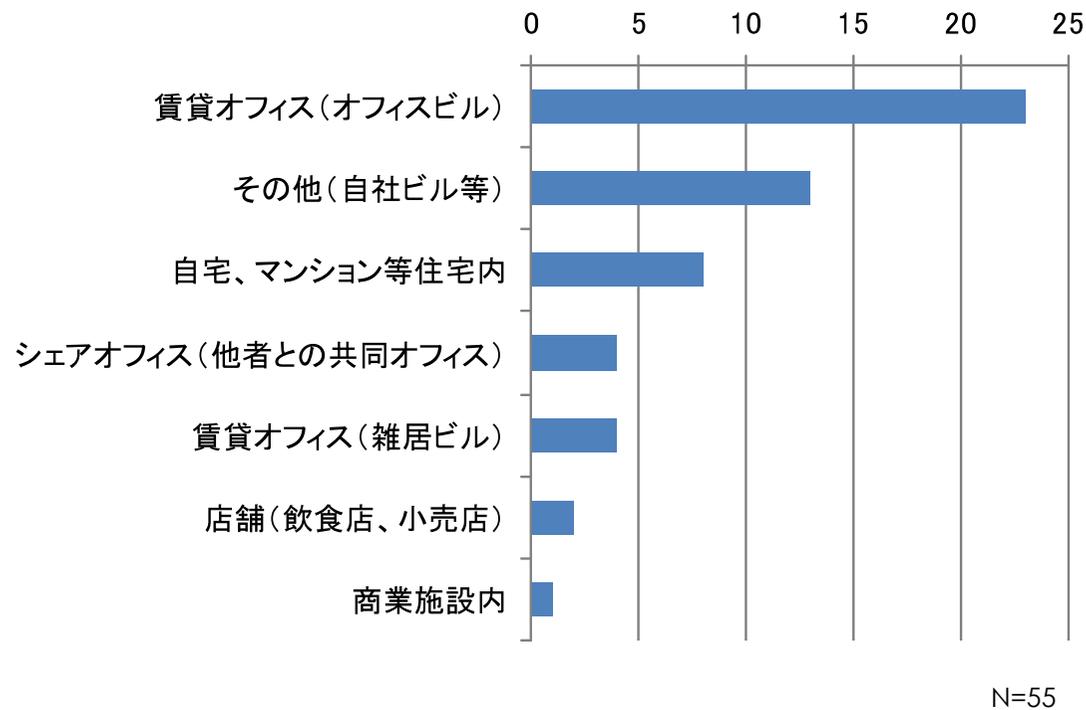
過去の業務空間

- これまで各企業が活用したことのある業務スペースは、賃貸オフィス(オフィスビル)、自宅マンション等の住宅内との回答が上位を占めました。



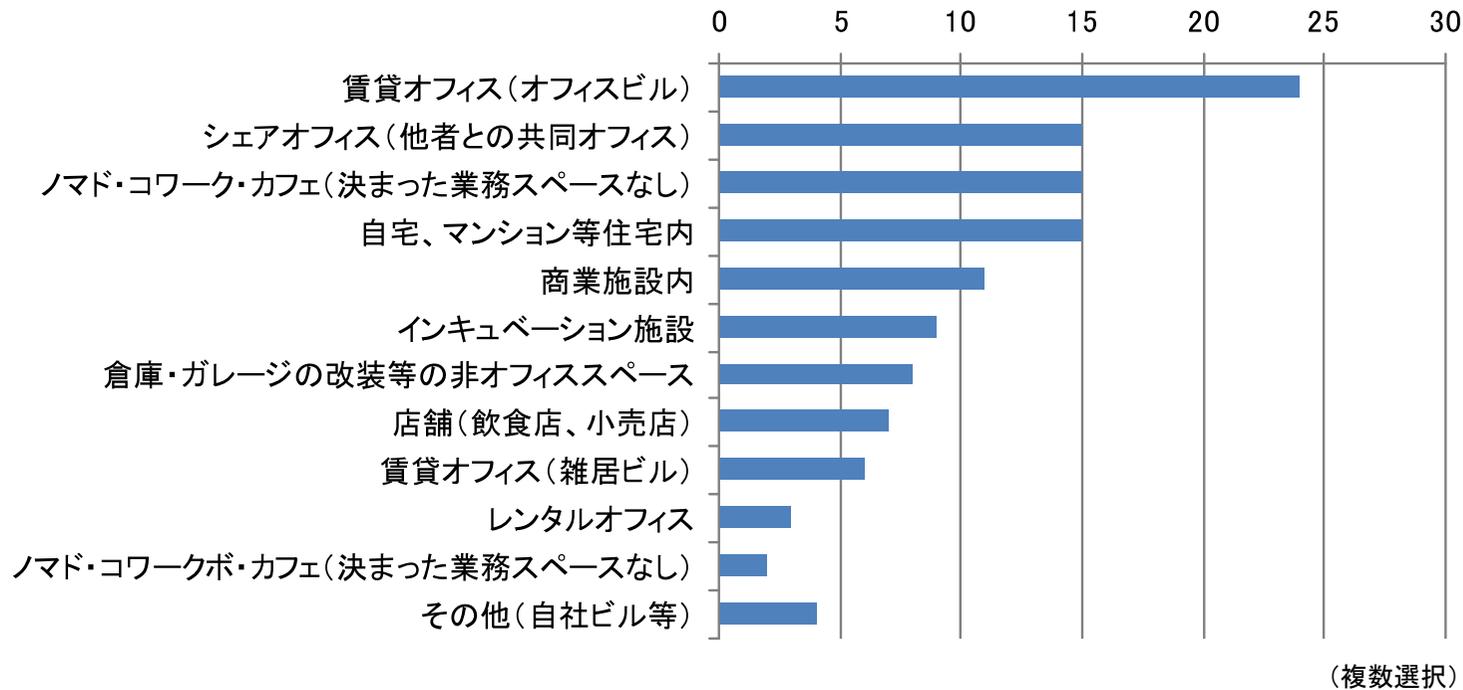
現在の業務空間

- 現在の業務空間は賃貸オフィス(オフィスビル)、自社ビル等の回答が上位を占めました。



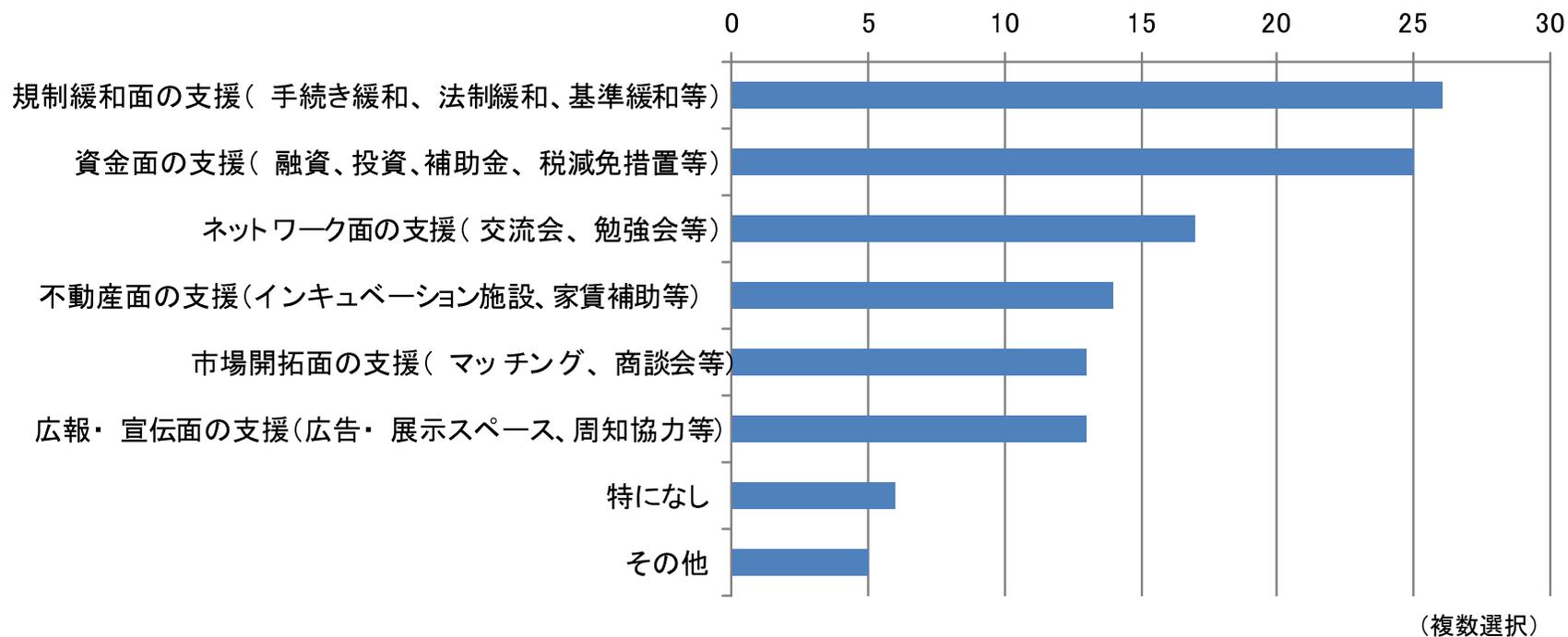
将来の業務空間

- 今後の業務空間は賃貸オフィス(オフィスビル)が最もニーズが高いですが、シェアオフィス、ノマド・ワーク・カフェ、自宅、マンション等、新しい働き方を志向している様子が伺えます。



政策的なニーズ

- 政策的なニーズは、規制緩和面の支援（手続き緩和、法制緩和、基準緩和等）、次いで資金面の支援（融資、投資、補助金、税減免措置等）が上位となっています。



都心の空間に対する意見

■ 都心に対して、多くの方が現状より上質な空間を求めています。

【都市の景観、都市の公共空間】

- 美しい都市にするため、一貫性のある建築物や、一定の建築デザインなどにも条例を設ける。
- 公共交通機関または長めの徒歩でアクセスできる水辺の憩いのスペース。
- 土がある場所で働ける空間。
- 都心部ウォーターフロントエリアの一体開発、競艇場の移転による都心親水エリアの拡張。
- 都心のベンチの付いた大規模緑地公園。
- 街並みにゆとりを持たせるべき。アクロス前のような幅があればゆとりを感じられる。
- 海外からの訪問者が写真を撮りたくなるようなストーリー性のあるシンボリックな空間やモニュメントの計画。
- 屋台の公道占拠を止めさせ、公園やパーキングなど賃料の発生する公的スペースへの移転集約。
- もっと運動できる空間が欲しい。
- 都市景観の改善。

【都心の環境を価値に転換】

- 都心とそれ以外の地域について緑化の考え方を明確に分けるべき。都心において緑化の制限が厳しいと再開発の障害になる恐れがある。
- NYの「HIGH LINE」を参考にしたような、どの街もなし得なかった「街全体」の緑や水空間の整備。
- 「ビジネス＝オフィスオフィスの集積」という考え方ではなく、「人間の生活＝自然＝エンターテイメント＝オフィス環境」といったより創造性や生産性、オフィスとしての付加価値を生む考え方が必要。
- その地域環境に適合した動植物との共生を追求し、里地里山の保全、自然再生、都市近郊の緑地の保全などに経済的インセンティブが生じるような制度設計を盛り込む。
- インターネット環境さえあれば都心にこだわりはない。逆にいえば、都心ならではのネット活用の素地が欲しい。公園でも緑化でも、河川沿岸の活用でもネット活用とセットで計画されたい。
- 環境系の企業が集まる周辺には緑地やビオトープが存在したり、デザインや広告系の企業が集まる近くに、その仕事を見せることができる場所があるなど、シンボリックな拠点を作るようなコンセプトを持ったオフィス環境形成が必要。
- 環境系の企業だとエコタウンに拠点が所在することが一つのステータスになるように、価値付けが必要だと感じる。

都心の空間に対する意見

- 都心に対して、多くの方が現状より上質な空間を求めています。

【公共交通、自転車交通】

- 都心部交通体系の整備。
- 自転車、車のマナーUP。歩きやすく、安全で快適な道路の確保
- 都心部の回転式立体駐車場の空きパレットをバイクや駐輪場へとコンバージョンし、都心の二輪駐車場不足問題を解決。
- 長い距離連続する自転車用道路軸の整備。
- バス停やタクシーの停留場所を調整して渋滞を緩和。
- 都市高速の環状線化に次いで、薬院、渡辺通近くで降りれるルートの整備を。
- 自転車専用道路を車道に。
- 交通渋滞を緩和するための車の交通量コントロール。

【ビジネスや人々の集積の工夫】

- 新たに建設や維持費をかけて施設を整備するのではなく、今ある施設や公園などを使い方や企画によって再構築することで有効活用する。
- 同業者を集めるしかけをつくり、集積することによりさらに集積に繋げる(例えばそれぞれの業種専用フロアをつくり東京大阪からテナントになりえる事業者、個人を賃料補助等を設けて誘致)。
- 都市再生の原動力をヒトに置く場合、多彩で、ヘンな(ニクリエイティブな)、面白いヒトが、がめ煮的に、あるいはモツ鍋的に交じり合うような、場、あるいは空間や仕組みがあったら、面白く、楽しい都心再生になる。
- 公民館のような誰でも安く利用できるワークスペースが少ない、もしくは利用しにくい状況にあるので、もっと増やして競争させて、利用しやすくすべき。
- 個人事業主が企業の福利厚生的に利用できるようなスポーツ施設などがあれば助かる。
- ベンチャー向けのレンタルオフィス。昼寝が出来る施設。
- SOHOオフィスやグラウンドではイベントなども行えるようにして残してほしい。
- 商店街や町内会といった消費者との関係性の高い空間インフラに、情報加工のスキルを落とし込むことで、従来の大企業主導型とは異なる経済モデルが生まれる。

都心の空間に対する意見

- 都心に対して、多くの方が現状より上質な空間を求めています。

【その他都心の整備】

- 表示言語をすべて日本語、英語バイリンガルを強制してほしい
- 都市としての機能が小さいエリアに集中しすぎている。都市として拡大すべき。
- インフラの整備。
- 女性や共働きが働きやすいような保育園や、病気の際に預かってもらえる病院などを計画的に配置する。
- 国際線空港ビルの充実（飛行機利用者以外も食事に行けたり、買い物できる）。
- ある程度の規模が核を形成するので、例えばまずは大企業、その密度が熱い場所に中小企業、もしくはこれからのアーティストが活動できる場、といった場所を整備すべき。